



文化財を市長が巡る
ブラタカシ

動画は市公式YouTube
からご覧ください！



もしかして
あのテレビ番組
意識してませんか？

市長、どうして
サングラス
なんですか？

枚方市長
伏見隆

文化財課
井戸竜太

広報プロモーション課
本田美幸

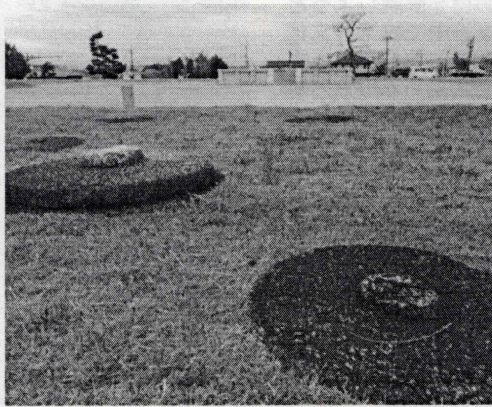
文化財を
見て歩くときは
いつもこれ
なんですよ。

特別史跡
百済寺跡

枚方に

古代都市!?

く だ ら で ら あ と
百済寺跡の謎に迫る



宮之阪駅から東に徒歩約10分

今 から約1250年前、枚方の地に平城京のような暮盤の目をした古代都市があったことをご存知ですか？今回の特集では文化財課職員の案内で伏見隆市長が某人気テレビ番組風に、中宮・禁野をぶら歩き。近年の発掘調査で明らかになってきた「百済寺跡」と「禁野本町遺跡」の謎に迫ります。

文化財課 ☎ 841・1411、
FAX 841・1278



百済寺跡といえ、大阪府初の特別史跡。本田さん、百済寺を建てた百済王氏は知っていますか？

国が滅び帰れなくなった百済王一族の子孫

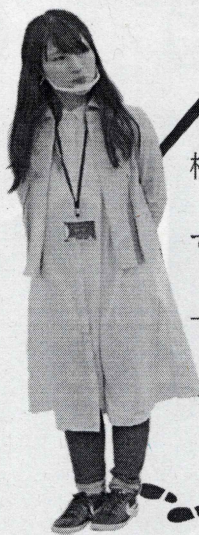
百済王氏とは、7世紀後半に滅んだ朝鮮半島の国「百済」の王族の末えいです（下図参照）。国が滅んだあと帰れなくなった王子・禅広らを祖先とする一族で、朝廷に仕え難波（大阪市東住吉区・生野区付近）に住んでいました。8世紀後半に枚方の中宮付近に移り住んだと考えられています。

奈良の大仏建立で黄金を献上し大出世

陸奥国（宮城・福島県など）で国司を務めていた百済王敬福は東大寺の大仏建立用に、黄金900両を聖武天皇に献上。喜んだ天皇は敬福を7階級特進させました。枚方・交野周辺も治める河内守に

中宮に移り住んだ王族の末えい

鍵を握るのは



確か奈良時代後半に枚方に移り住んだと言うことは知っています。でも、それ以上のことはあんまり…。一体どんな人たちだったんでしょう？

敬福の活躍で名声を上げた百済王氏。その後も敬福の孫の明信が桓武天皇の側近である女官長となるなど上級官人を多数輩出。桓武天皇は母親が百済系氏族の「和氏」出身だったこともあり、「百済王らは朕の外戚」と言うほど信頼を寄せていました。文献には桓武天皇がたびたび枚方がある交野郡で鷹狩りや天神を祭る儀式を行った記録が残されています。

2度の遷都を行った桓武天皇と深いつながり

なった敬福はなぜ河内の北部にある枚方に移住したのでしょうか。古代史と繋がる歴史の秘密がありそうです。

古代の朝鮮半島と日本（倭）



赤字は7世紀の国名、赤点線はその国境線

井戸 竜太 プロフィール

東京都出身。日本史の謎を解明しようと奈良の大学で考古学を学ぶ中で枚方の文化財的価値に注目。平成28年、枚方市に入職した。「文化財調査は市民の皆さんの協力があつてこそ。成果を分かりやすく多くの人に伝えたい」と熱く語る。

当時、国内で最上級の氏族だったんです！

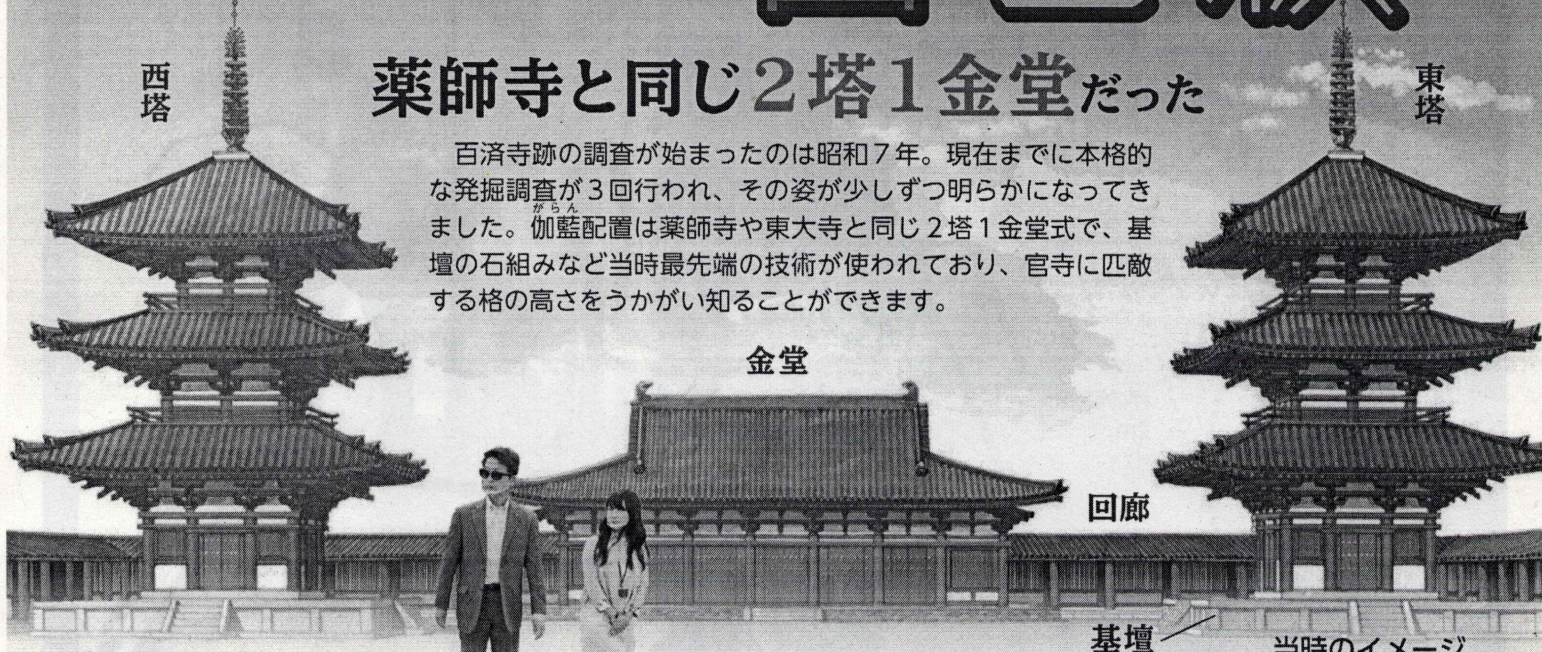
なんと! 百済寺跡は 国宝級

西塔

薬師寺と同じ2塔1金堂だった

東塔

百済寺跡の調査が始まったのは昭和7年。現在までに本格的な発掘調査が3回行われ、その姿が少しずつ明らかになってきました。伽藍配置は薬師寺や東大寺と同じ2塔1金堂式で、基壇の石組みなど当時最先端の技術が使われており、官寺に匹敵する格の高さをうかがい知ることができます。



金堂

回廊

基壇

当時のイメージ



常翔啓光学園

北西に
約160メートル

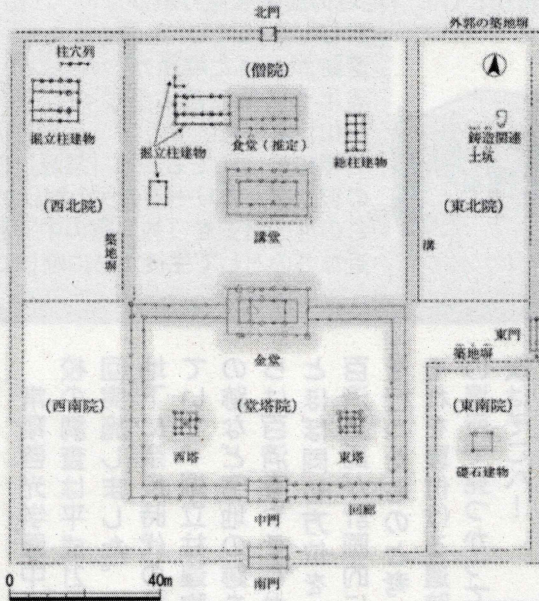
この先に道が...?

百済寺跡は昭和42年、日本で初めて史跡公園に。現在、令和5年度の完成を目指して再整備を進めています。東塔は当時の基壇を再現する一方、西塔は礎石をそのまま残すことで往時をしのばせる工夫が凝らされています。

実は北門から道が延び、まちが広がっていたんです! その痕跡が常翔啓光学園に残っています!



▼西塔側に残る約1250年前の礎石



井戸「特別史跡といってもピンと来ないと思いますが、遺跡の中の「国宝」に当たるんです。これが枚方にあるってすごいことなんですよ! 建設当時の礎石に触れてみましょう!」

タカシ「これが塔の柱を支えていたんですね〜。」

本田「古代にタイムスリップしてしまいそうです。」

▲西南院があった百済王神社から西を見ると崖に。交野台地の隆起で大きく発達した河岸段丘で「交通の要でもあった淀川が一望できた」と井戸さん。

塔を支える基壇には生駒山系の石が使われていたようです。礎石の大きさや位置から高さ約25メートルの三重の塔だったと考えられています。

